

通学区域に工業地域等を含む義務教育施設の状況等について

(令和5年度)

1 はじめに

市川市は、工業地域等における大型マンション等建築事業の施行が当該工業地域等の環境を大きく変化させるとともに、新たな行政需要を生じさせることから、事業区域に居住することとなる住民の良好な居住環境の形成及び事業区域周辺の環境との調和を図ることを目的として、市川市工業地域等における大型マンション等建築事業の施行に係る事前協議の手続等の特例に関する条例（以下「条例」といいます。）を定めています。

この条例においては、「市長は、義務教育施設への児童等の受入れが困難であると認めるときは、大型マンション等建築事業の計画の変更、延期又は中止を勧告することができる」とされています（条例第6条第2項）。

これを踏まえ、あらかじめ、工業地域等における大型マンション等建築事業の施行を予定されている方に通学区域に工業地域等を含む義務教育施設の状況等をご理解いただくため、これを公表するものです。

2 通学区域に工業地域等を含む義務教育施設

通学区域に工業地域等を含む義務教育施設は、別紙1のとおりです。

3 通学区域に工業地域等を含む義務教育施設の状況

通学区域に工業地域等を含む義務教育施設の状況は、別紙2のとおりです。

別紙 1

通学区域に工業地域等を含む義務教育施設

工業地域等	小学校等	中学校等
市川南地区工業地域		
市川南 2 丁目 1 ～ 4 番及び 9 番 新田 4 丁目	宮田小学校	大洲中学校
上記以外	大洲小学校	
平田・南八幡地区準工業地域	平田小学校	第八中学校
東大和田地区工業地域	稲荷木小学校	第八中学校
鬼高地区工業地域	鬼高小学校	第六中学校
鬼高・田尻地区工業地域		
鬼高 3・4 丁目	鬼高小学校	第六中学校
田尻 1・2 丁目	稲荷木小学校	
田尻 3・4 丁目	信篤小学校	高谷中学校
原木 1 丁目・二俣 1 丁目地区準工業地域		
原木 1 丁目	信篤小学校	高谷中学校
二俣 1・2 丁目及び原木 3 丁目	二俣小学校	
原木・二俣地区準工業地域		
原木	信篤小学校	高谷中学校
二俣	二俣小学校	
原木地区工業地域	信篤小学校	高谷中学校
高谷地区準工業地域	信篤小学校	高谷中学校
田尻地区工業地域	信篤小学校	高谷中学校
妙典地区準工業地域	塩焼小学校	妙典中学校
加藤新田地区工業地域	幸小学校	妙典中学校
千鳥町地区工業地域	南新浜小学校	妙典中学校
塩浜地区工業地域	塩浜学園（前期課程）	塩浜学園（後期課程）
島尻・広尾地区工業地域	新井小学校	南行徳中学校

別紙 2

1 宮田小学校

(1) 児童数及び学級数

ア 現況 433人 15学級（令和5年5月1日現在）

イ 推計

通学区域内における0歳から5歳までの児童数をみると、0歳105人、1歳93人、2歳105人、3歳92人、4歳91人、5歳82人となっています（令和5年5月1日現在）。

これらの児童が、年齢間変化率（0→1歳89.4%、1→2歳93.9%、2→3歳96.1%、3→4歳97.1%、4→5歳98.5%）及び入学率（81.5%）を乗じて得た数で推移し、就学後は異同なく学年進行するものとして児童数及び学級数を推計すると、次の表1のとおりとなります。

【表1】 児童数・学級数の推計

年 度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
児 童 数	433	426	445	429	448	436	429
学 級 数	15	15	16	16	17	16	15

(2) 教室数

現在、全教室数は31です。また、令和11年度までの学級数の推計に基づき必要教室数を推計すると、次の表2のとおりとなります。

【表2】 学級数の推計に基づく必要教室数の推計

年 度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
全教室数	31	31	31	31	31	31	31
必要教室数 (ア+イ+ウ)	31	31	32	32	33	32	31
ア 普通教室	15	15	16	16	17	16	15
イ 特別教室	10	10	10	10	10	10	10
ウ 学校教育施策教室	6	6	6	6	6	6	6

(3) 大型マンション等建築事業の施行に伴う児童の受入れ

令和7年度より、必要教室数が全教室よりも上回るため、児童の受入れが困難な状況になります。

2 平田小学校

(1) 児童数及び学級数

ア 現況 416人 14学級（令和5年5月1日現在）

イ 推計

通学区域内における0歳から5歳までの児童数をみると、0歳130人、1歳120人、2歳121人、3歳115人、4歳89人、5歳122人となっています（令和5年5月1日現在）。

これらの児童が、年齢間変化率（0→1歳92.9%、1→2歳89.1%、2→3歳93.8%、3→4歳93.9%、4→5歳97.5%）及び入学率（70.6%）を乗じて得た数で推移し、就学後は異同なく学年進行するものとして児童数及び学級数を推計すると、次の表1のとおりとなります。

【表1】児童数・学級数の推計

年 度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
児 童 数	416	440	418	425	429	434	432
学 級 数 (特学5含む)	19	20	19	20	20	20	20

(2) 教室数

現在、全教室数は39です。また、令和11年度までの学級数の推計に基づき必要教室数を推計すると、次の表2のとおりとなります。

【表2】学級数の推計に基づく必要教室数の推計

年 度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
全教室数	39	39	39	39	39	39	39
必要教室数 (ア+イ+ウ)	35	36	35	36	36	36	36
ア 普通教室	19	20	19	20	20	20	20
イ 特別教室	10	10	10	10	10	10	10
ウ 学校教育施策教室	6	6	6	6	6	6	6

(3) 大型マンション等建築事業の施行に伴う児童の受入れ

現状においては、必要教室数が全教室数を超えることが予測されないことから、児童の受入れが困難な状況ではありません。ただし、大型マンション等建築事業の規模によっては、児童の受入れが困難となることも想定されます。

3 鬼高小学校

(1) 児童数及び学級数

ア 現況 869人 28学級（令和5年5月1日現在）

イ 推計

通学区域内における0歳から5歳までの児童数をみると、0歳118人、1歳140人、2歳117人、3歳119人、4歳149人、5歳144人となっています（令和5年5月1日現在）。

これらの児童が、年齢間変化率（0→1歳94.1%、1→2歳94.3%、2→3歳97.3%、3→4歳94.4%、4→5歳97.4%）及び入学率（99.8%）を乗じて得た数で推移し、就学後は異同なく学年進行するものとして児童数及び学級数を推計すると、次の表1のとおりとなります。

【表1】 児童数・学級数の推計

年 度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
児 童 数	869	851	872	830	793	767	724
学 級 数	28	28	29	28	27	26	25

(2) 教室数

現在、全教室数は49です。また、令和11年度までの学級数の推計に基づき必要教室数を推計すると、次の表2のとおりとなります。

【表2】 学級数の推計に基づく必要教室数の推計

年 度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
全教室数	49	49	49	49	49	49	49
必要教室数 (ア+イ+ウ)	49	49	50	49	48	47	46
ア 普通教室	30	30	31	30	29	28	27
イ 特別教室	11	11	11	11	11	11	11
ウ 学校教育施策教室	8	8	8	8	8	8	8

(3) 大型マンション等建築事業の施行に伴う児童の受入れ

令和7年度にかけて、必要教室数が全教室よりも上回るため、児童の受入れが困難な状況になります。

4 信篤小学校

(1) 児童数及び学級数

ア 現況 781人 25学級（令和5年5月1日現在）

イ 推計

通学区域内における0歳から5歳までの児童数をみると、0歳141人、1歳124人、2歳125人、3歳119人、4歳116人、5歳144人となっています（令和5年5月1日現在）。

これらの児童が、年齢間変化率（0→1歳90.5%、1→2歳90.8%、2→3歳91.7%、3→4歳94.6%、4→5歳96.3%）及び入学率（102.8%）を乗じて得た数で推移し、就学後は異同なく学年進行するものとして児童数及び学級数を推計すると、次の表1のとおりとなります。

【表1】 児童数・学級数の推計

年 度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
児 童 数	781	811	816	816	782	724	688
学 級 数 (特学3含む)	28	29	30	30	29	27	26

(2) 教室数

現在、全教室数は42です。また、令和11年度までの学級数の推計に基づき必要教室数を推計すると、次の表2のとおりとなります。

【表2】 学級数の推計に基づく必要教室数の推計

年 度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
全教室数	42	42	42	42	42	42	42
必要教室数 (ア+イ+ウ)	45	46	47	47	46	44	43
ア 普通教室	28	29	30	30	29	27	26
イ 特別教室	10	10	10	10	10	10	10
ウ 学校教育施策教室	7	7	7	7	7	7	7

(3) 大型マンション等建築事業の施行に伴う児童の受入れ

現状において、必要教室数が全教室数よりも上回っているため、児童の受入れが困難な状況になっております。

5 稲荷木小学校

(1) 児童数及び学級数

ア 現況 450人 15学級（令和5年5月1日現在）

イ 推計

通学区域内における0歳から5歳までの児童数をみると、0歳135人、1歳142人、2歳128人、3歳100人、4歳128人、5歳108人となっています（令和5年5月1日現在）。

これらの児童が、年齢間変化率（0→1歳102.5%、1→2歳103.6%、2→3歳95.9%、3→4歳99.2%、4→5歳97.4%）及び入学率（80.4%）を乗じて得た数で推移し、就学後は異同なく学年進行するものとして児童数及び学級数を推計すると、次の表1のとおりとなります。

【表1】児童数・学級数の推計

年 度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
児 童 数	450	468	519	530	543	571	585
学 級 数	15	16	17	18	18	19	20

(2) 教室数

現在、全教室数は33です。また、令和11年度までの学級数の推計に基づき必要教室数を推計すると、次の表2のとおりとなります。

【表2】学級数の推計に基づく必要教室数の推計

年 度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
全教室数	33	33	33	33	33	33	33
必要教室数 (ア+イ+ウ)	31	32	33	34	34	35	36
ア 普通教室	15	16	17	18	18	19	20
イ 特別教室	10	10	10	10	10	10	10
ウ 学校教育施策教室	6	6	6	6	6	6	6

(3) 大型マンション等建築事業の施行に伴う児童の受入れ

令和8年度より、必要教室数が全教室よりも上回るため、児童の受入れが困難な状況になります。

6 二俣小学校

(1) 児童数及び学級数

ア 現況 169人 7学級（令和5年5月1日現在）

イ 推計

通学区域内における0歳から5歳までの児童数をみると、0歳67人、1歳72人、2歳54人、3歳54人、4歳52人、5歳44人となっています（令和5年5月1日現在）。

これらの児童が、年齢間変化率（0→1歳91.2%、1→2歳86.8%、2→3歳90.2%、3→4歳100.0%、4→5歳97.4%）及び入学率（37.7%）を乗じて得た数で推移し、就学後は異同なく学年進行するものとするとして児童数及び学級数を推計すると、次の表1のとおりとなります。

【表1】 児童数・学級数の推計

年 度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
児 童 数	169	152	143	123	122	118	117
学 級 数 (特学2含む)	9	9	9	8	8	8	8

(2) 教室数

現在、全教室数は25です。また、令和11年度までの学級数の推計に基づき必要教室数を推計すると、次の表2のとおりとなります。

【表2】 学級数の推計に基づく必要教室数の推計

年 度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
全教室数	25	25	25	25	25	25	25
必要教室数 (ア+イ+ウ)	24	24	24	23	23	23	23
ア 普通教室	9	9	9	8	8	8	8
イ 特別教室	10	10	10	10	10	10	10
ウ 学校教育施策教室	5	5	5	5	5	5	5

(3) 大型マンション等建築事業の施行に伴う児童の受入れ

現状においては、必要教室数が全教室数を超えることが予測されないことから、児童の受入れが困難な状況ではありません。ただし、大型マンション等建築事業の規模によっては、児童の受入れが困難となることも想定されます。

7 大洲小学校

(1) 児童数及び学級数

ア 現況 537人 18学級（令和5年5月1日現在）

イ 推計

通学区域内における0歳から5歳までの児童数をみると、0歳91人、1歳86人、2歳103人、3歳95人、4歳109人、5歳90人となっています（令和5年5月1日現在）。

これらの児童が、年齢間変化率（0→1歳94.2%、1→2歳99.1%、2→3歳92.6%、3→4歳100.3%、4→5歳95.3%）及び入学率（95.2%）を乗じて得た数で推移し、就学後は異同なく学年進行するものとする、児童数及び学級数は、令和5年度537人18学級、令和6年度530人18学級、令和7年度544人18学級、令和8年度549人18学級、令和9年度546人18学級、令和10年度522人18学級、令和11年度513人18学級と推計されます。

これに、他の条例適用事業に係る計画戸数に出現率（0歳5.2%、1歳8.4%、2歳7.6%、3歳6.2%、4歳5.3%、5歳5.7%、6歳4.3%、7歳2.9%、8歳1.7%、9歳2.1%、10歳0.7%、11歳0.4%）を乗じて得た数の児童数を加えて児童数及び学級数を推計すると、次の表1のとおりとなります。

【表1】 児童数・学級数の推計

年 度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
児 童 数	537	530	544	622	647	647	659
学 級 数	18	18	18	20	21	21	22

(2) 教室数

現在、全教室数は34です。また、令和11年度までの学級数の推計に基づき必要教室数を推計すると、次の表2のとおりとなります。

【表2】 学級数の推計に基づく必要教室数の推計

年 度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
全教室数	34	34	34	34	34	34	34
必要教室数 (ア+イ+ウ)	34	34	34	36	37	37	38
ア 普通教室	18	18	18	20	21	21	22
イ 特別教室	10	10	10	10	10	10	10
ウ 学校教育施 策教室	6	6	6	6	6	6	6

(3) 大型マンション等建築事業の施行に伴う児童の受入れ

京葉ガス市川工場跡地 大型マンション建設に伴い、令和8年度より必要教室数が全教室数よりも上回るため受入れ困難な状況となるため、新校舎を建設し、不足教室については対応いたします。

8 幸小学校

(1) 児童数及び学級数

ア 現況 724人 24学級（令和5年5月1日現在）

イ 推計

通学区域内における0歳から5歳までの児童数をみると、0歳96人、1歳140人、2歳111人、3歳120人、4歳123人、5歳150人となっています（令和5年5月1日現在）。

これらの児童が、年齢間変化率（0→1歳103.0%、1→2歳97.0%、2→3歳99.8%、3→4歳96.8%、4→5歳99.1%）及び入学率（78.7%）を乗じて得た数で推移し、就学後は異同なく学年進行するものとするとして児童数及び学級数を推計すると、次の表1のとおりとなります。

【表1】児童数・学級数の推計

年 度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
児 童 数	724	735	710	677	627	615	571
学 級 数	24	24	23	22	21	20	19

(2) 教室数

現在、全教室数は41です。また、令和11年度までの学級数の推計に基づき必要教室数を推計すると、次の表2のとおりとなります。

【表2】学級数の推計に基づく必要教室数の推計

年 度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
全教室数	41	41	41	41	41	41	41
必要教室数 (ア+イ+ウ)	41	41	40	39	38	37	36
ア 普通教室	24	24	23	22	21	20	19
イ 特別教室	10	10	10	10	10	10	10
ウ 学校教育施策教室	7	7	7	7	7	7	7

(3) 大型マンション等建築事業の施行に伴う児童の受入れ

現状においては、必要教室数が全教室数を超えることが予測されないことから、児童の受入れが困難な状況ではありません。ただし、大型マンション等建築事業の規模によっては、児童の受入れが困難となることも想定されます。

9 新井小学校

(1) 児童数及び学級数

ア 現況 668人 22学級（令和5年5月1日現在）

イ 推計

通学区域内における0歳から5歳までの児童数をみると、0歳98人、1歳96人、2歳96人、3歳95人、4歳99人、5歳96人となっています（令和5年5月1日現在）。

これらの児童が、年齢間変化率（0→1歳99.0%、1→2歳101.8%、2→3歳99.3%、3→4歳103.4%、4→5歳101.4%）及び入学率（102.2%）を乗じて得た数で推移し、就学後は異同なく学年進行するものとするとして児童数及び学級数を推計すると、次の表1のとおりとなります。

【表1】 児童数・学級数の推計

年 度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
児 童 数	668	653	637	631	609	626	628
学 級 数 (特学2含む)	24	24	23	22	21	22	22

(2) 教室数

現在、全教室数は44です。また、令和11年度までの学級数の推計に基づき必要教室数を推計すると、次の表2のとおりとなります。

【表2】 学級数の推計に基づく必要教室数の推計

年 度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
全教室数	44	44	44	44	44	44	44
必要教室数 (ア+イ+ウ)	41	41	40	39	38	39	39
ア 普通教室	24	24	23	22	21	22	22
イ 特別教室	10	10	10	10	10	10	10
ウ 学校教育施策教室	7	7	7	7	7	7	7

(3) 大型マンション等建築事業の施行に伴う児童の受入れ

現状においては、必要教室数が全教室数を超えることが予測されないことから、児童の受入れが困難な状況ではありません。ただし、大型マンション等建築事業の規模によっては、児童の受入れが困難となることも想定されます。

10 南新浜小学校

(1) 児童数及び学級数

ア 現況 587人 19学級（令和5年5月1日現在）

イ 推計

通学区域内における0歳から5歳までの児童数をみると、0歳71人、1歳91人、2歳81人、3歳91人、4歳105人、5歳103人となっています（令和5年5月1日現在）。

これらの児童が、年齢間変化率（0→1歳100.8%、1→2歳98.2%、2→3歳99.3%、3→4歳99.7%、4→98.1%）及び入学率（88.9%）を乗じて得た数で推移し、就学後は異同なく学年進行するものとして児童数及び学級数を推計すると、次の表1のとおりとなります。

【表1】 児童数・学級数の推計

年 度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
児 童 数	587	578	554	551	527	517	481
学 級 数	19	19	18	18	18	18	17

(2) 教室数

現在、全教室数は36です。また、令和11年度までの学級数の推計に基づき必要教室数を推計すると、次の表2のとおりとなります。

【表2】 学級数の推計に基づく必要教室数の推計

年 度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
全教室数	36	36	36	36	36	36	36
必要教室数 (ア+イ+ウ)	36	36	35	35	35	35	34
ア 普通教室	19	19	18	18	18	18	17
イ 特別教室	10	10	10	10	10	10	10
ウ 学校教育施策教室	7	7	7	7	7	7	7

(3) 大型マンション等建築事業の施行に伴う児童の受入れ

現状においては、必要教室数が全教室数を超えることが予測されないことから、児童の受入れが困難な状況ではありません。ただし、大型マンション等建築事業の規模によっては、児童の受入れが困難となることも想定されます。

11 塩焼小学校

(1) 児童数及び学級数

ア 現況 779人 25学級（令和5年5月1日現在）

イ 推計

通学区域内における0歳から5歳までの児童数をみると、0歳161人、1歳163人、2歳148人、3歳154人、4歳157人、5歳142人となっています（令和5年5月1日現在）。

これらの児童が、年齢間変化率（0→1歳97.2%、1→2歳92.9%、2→3歳95.5%、3→4歳94.3%、4→5歳93.2%）及び入学率（82.7%）を乗じて得た数で推移し、就学後は異同なく学年進行するものとして児童数及び学級数を推計すると、次の表1のとおりとなります。

【表1】児童数・学級数の推計

年 度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
児 童 数	779	764	763	737	707	679	668
学 級 数 (特学4含む)	29	28	28	28	27	27	26

(2) 教室数

現在、全教室数は48です。また、令和11年度までの学級数の推計に基づき必要教室数を推計すると、次の表2のとおりとなります。

【表2】学級数の推計に基づく必要教室数の推計

年 度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
全教室数	48	48	48	48	48	48	48
必要教室数 (ア+イ+ウ)	48	47	47	47	46	46	45
ア 普通教室	29	28	28	28	27	27	26
イ 特別教室	11	11	11	11	11	11	11
ウ 学校教育施策教室	8	8	8	8	8	8	8

(3) 大型マンション等建築事業の施行に伴う児童の受入れ

現状においては、必要教室数が全教室数を超えることが予測されないことから、児童の受入れが困難な状況ではありません。ただし、大型マンション等建築事業の規模によっては、児童の受入れが困難となることも想定されます。

12 塩浜学園(前期課程)

(1) 児童数及び学級数

ア 現況 179人 8学級 (令和5年5月1日現在)

イ 推計

通学区域内における0歳から5歳までの児童数をみると、0歳20人、1歳24人、2歳14人、3歳35人、4歳23人、5歳16人なっています(令和5年5月1日現在)。

これらの児童が、年齢間変化率(0→1歳116.4%、1→2歳96.6%、2→3歳94.3%、3→4歳88.4%、4→5歳94.6%及び入学率(128.8%)を乗じて得た数で推移し、就学後は異同なく学年進行するものとして児童数及び学級数を推計すると、次の表1のとおりとなります。

【表1】児童数・学級数の推計

年 度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
児 童 数	179	180	182	191	172	170	158
学 級 数	8	8	8	9	8	8	7

(2) 教室数

現在、全教室数は26です。また、令和11年度までの学級数の推計に基づき必要教室数を推計すると、次の表2のとおりとなります。

【表2】学級数の推計に基づく必要教室数の推計

年 度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
全教室数	26	26	26	26	26	26	26
必要教室数 (ア+イ+ウ)	24	24	24	25	24	24	23
ア 普通教室	8	8	8	9	8	8	7
イ 特別教室	10	10	10	10	10	10	10
ウ 学校教育施策教室	6	6	6	6	6	6	6

(3) 大型マンション等建築事業の施行に伴う児童の受入れ

現状においては、必要教室数が全教室数を超えることが予測されないことから、児童の受入れが困難な状況ではありません。ただし、大型マンション等建築事業の規模によっては、児童の受入れが困難となることも想定されます。

13 第六中学校

(1) 生徒数及び学級数

ア 現況 589人 17学級 (令和5年5月1日現在)

イ 推計

通学区域内における6歳から11歳までの児童数をみると、6歳250人、7歳235人、8歳208人、9歳215人、10歳186人、11歳219人となっています(令和5年5月1日現在)。

これらの生徒が、年齢間変化率(6→7歳98.1%、7→8歳98.1%、8→9歳101.1%、9→10歳98.9%、10→11歳100.5%)及び入学率

(92.1%)を乗じて得た数で推移し、就学後は異同なく学年進行するものとして児童数及び学級数を推計すると、次の表1のとおりとなります。

【表1】 生徒数・学級数の推計

年 度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
生 徒 数	589	584	584	574	567	610	637
学 級 数	17	17	17	17	17	19	19

(2) 教室数

現在、全教室数は37です。また、令和11年度までの学級数の推計に基づき必要教室数を推計すると、次の表2のとおりとなります。

【表2】 学級数の推計に基づく必要教室数の推計

年 度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
全教室数	37	37	37	37	37	37	37
必要教室数 (ア+イ+ウ)	37	37	37	37	37	39	39
ア 普通教室	17	17	17	17	17	19	19
イ 特別教室	11	11	11	11	11	11	11
ウ 学校教育施策教室	9	9	9	9	9	9	9

(3) 大型マンション等建築事業の施行に伴う生徒の受入れ

令和10年度より、必要教室数が全教室数よりも上回るため、生徒の受入れが困難な状況になります。

14 第八中学校

(1) 生徒数及び学級数

ア 現況 548人 16学級（令和5年5月1日現在）

イ 推計

通学区域内における6歳から11歳までの児童数をみると、6歳276人、7歳286人、8歳295人、9歳260人、10歳264人、11歳248人となっています（令和5年5月1日現在）。

これらの生徒が、年齢間変化率（6→7歳99.4%、7→8歳98.4%、8→9歳100.7%、9→10歳99.3%、10→11歳100.7%）及び入学率（81.4%）を乗じて得た数で推移し、就学後は異同なく学年進行するものとする、次の表1のとおりになります。

【表1】生徒数・学級数の推計

年 度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
生 徒 数	548	581	609	632	674	689	700
学 級 数 (特学6含む)	22	22	24	25	25	26	27

(2) 教室数

現在、全教室数は41です。また、令和11年度までの学級数の推計に基づき必要教室数を推計すると、次の表2のとおりとなります。

【表2】学級数の推計に基づく必要教室数の推計

年 度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
全教室数	41	41	41	41	41	41	41
必要教室数 (ア+イ+ウ)	41	41	43	44	44	45	46
ア 普通教室	22	22	24	25	25	26	27
イ 特別教室	11	11	11	11	11	11	11
ウ 学校教育施策教室	8	8	8	8	8	8	8

(3) 大型マンション等建築事業の施行に伴う生徒の受入れ

令和7年度より、必要教室数が全教室数よりも上回るため、生徒の受入れが困難な状況になります。

15 高谷中学校

(1) 生徒数及び学級数

ア 現況 402人 12学級 (令和5年5月1日現在)

イ 推計

通学区域内における6歳から11歳までの児童数をみると、6歳170人、7歳196人、8歳184人、9歳178人、10歳157人、11歳176人となっています(令和5年5月1日現在)。

これらの生徒が、年齢間変化率(6→7歳100.4%、7→8歳97.7%、8→9歳99.6%、9→10歳100.6%、10→11歳100.0%)及び入学率(71.7%)を乗じて得た数で推移し、就学後は異同なく学年進行するものとする、次の表1のとおりになります。

【表1】生徒数・学級数の推計

年 度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
生 徒 数	402	388	363	370	377	404	396
学 級 数 (特学1含む)	13	13	13	12	12	13	13

(2) 教室数

現在、全教室数は33です。また、令和11年度までの学級数の推計に基づき必要教室数を推計すると、次の表2のとおりとなります。

【表2】学級数の推計に基づく必要教室数の推計

年 度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
全教室数	33	33	33	33	33	33	33
必要教室数 (ア+イ+ウ)	32	32	32	31	31	32	32
ア 普通教室	13	13	13	12	12	13	13
イ 特別教室	11	11	11	11	11	11	11
ウ 学校教育施策教室	8	8	8	8	8	8	8

(3) 大型マンション等建築事業の施行に伴う生徒の受入れ

現状においては、必要教室数が全教室数を超えることが予測されないことから、生徒の受入れが困難な状況ではありません。ただし、大型マンション等建築事業の規模によっては、生徒の受入れが困難となることも想定されます。

16 大洲中学校

(1) 生徒数及び学級数

ア 現況 419人 13学級（令和5年5月1日現在）

イ 推計

通学区域内における6歳から11歳までの児童数をみると、6歳204人、7歳239人、8歳218人、9歳234人、10歳197人、11歳216人となっています（令和5年5月1日現在）。

これらの児童が、年齢間変化率（6→7歳98.0%、7→8歳99.5%、8→9歳100.6%、9→10歳99.0%、10→11歳99.5%）及び入学率

（63.4%）を乗じて得た数で推移し、就学後は異同なく学年進行するものとする、生徒数及び学級数は、令和5年度419人13学級、令和6年度403人12学級、令和7年度390人12学級、令和8年度409人13学級、令和9年度410人12学級、令和10年度436人13学級、令和11年度416人12学級と推計されます。

これに、他の条例適用事業に係る計画戸数に出現率（6歳4.3%、7歳2.9%、8歳1.7%、9歳2.1%、10歳0.7%、11歳0.4%、12歳1.1%、13歳1.4%、14歳0.4%）を乗じて得た数の生徒数を加えて生徒数及び学級数を推計すると、次の表1のとおりとなります。

【表1】 生徒数・学級数の推計

年 度	R5年度	64年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
生 徒 数	419	403	390	428	428	449	432
学 級 数 (夜間3含む)	16	15	15	16	16	17	16

(2) 教室数

現在、全教室数は38です。また、令和11年度までの学級数の推計に基づき必要教室数を推計すると、次の表2のとおりとなります。

【表2】 学級数の推計に基づく必要教室数の推計

年 度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
全教室数	38	38	38	38	38	38	38
必要教室数 (ア+イ+ウ)	35	34	34	35	35	36	35
ア 普通教室	16	15	15	16	16	17	16
イ 特別教室	11	11	11	11	11	11	11
ウ 学校教育施策教室	8	8	8	8	8	8	8

(3) 大型マンション等建築事業の施行に伴う生徒の受入れ

現状においては、必要教室数が全教室数を超えることが予測されないことから、生徒の受入れが困難な状況ではありません。ただし、大型マンション等建築事業の規模によっては、生徒の受入れが困難となることも想定されます。

17 塩浜学園(後期課程)

(1) 生徒数及び学級数

ア 現況 237人 9学級 (令和5年5月1日現在)

イ 推計

通学区域内における6歳から11歳までの児童数をみると、6歳90人、7歳80人、8歳91人、9歳96人、10歳81人、11歳62人となっています(令和5年5月1日現在)。

これらの生徒が、年齢間変化率(6→7歳98.8%、7→8歳105.5%、8→9歳102.1%、9→10歳98.3%、10→11歳97.2%)及び入学率

(117.1%)を乗じて得た数で推移し、就学後は異同なく学年進行するものとする、次の表1のとおりになります。

【表1】 生徒数・学級数の推計

年 度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
生 徒 数	237	220	242	275	308	314	314
学 級 数	9	7	7	9	10	9	10

(2) 教室数

現在、全教室数は25です。また、令和11年度までの学級数の推計に基づき必要教室数を推計すると、次の表2のとおりとなります。

【表2】 学級数の推計に基づく必要教室数の推計

年 度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
全教室数	25	25	25	25	25	25	25
必要教室数 (ア+イ+ウ)	25	23	23	25	26	25	26
ア 普通教室	9	7	7	9	10	9	10
イ 特別教室	9	9	9	9	9	9	9
ウ 学校教育施策教室	7	7	7	7	7	7	7

(3) 大型マンション等建築事業の施行に伴う生徒の受入れ

令和9年度より、必要教室数が全教室数よりも上回るため、生徒の受入れが困難な状況になります。

18 南行徳中学校

(1) 生徒数及び学級数

ア 現況 612人 18学級（令和5年5月1日現在）

イ 推計

通学区域内における6歳から11歳までの児童数をみると、6歳233人、7歳233人、8歳280人、9歳216人、10歳233人、11歳232人となっています（令和5年5月1日現在）。

これらの児童が、年齢間変化率（6→7歳100.1%、7→8歳98.1%、8→9歳99.4%、9→10歳99.0%、10→11歳99.9%）及び入学率（74.6%）を乗じて得た数で推移し、就学後は異同なく学年進行するものとして生徒数及び学級数を推計すると、次の表1のとおりとなります。

【表1】生徒数・学級数の推計

年 度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
生 徒 数	612	595	560	508	541	536	546
学 級 数 (特学3含む)	21	20	19	18	19	19	19

(2) 教室数

現在、全教室数は40です。また、令和11年度までの学級数の推計に基づき必要教室数を推計すると、次の表2のとおりとなります。

【表2】学級数の推計に基づく必要教室数の推計

年 度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
全教室数	40	40	40	40	40	40	40
必要教室数 (ア+イ+ウ)	40	39	38	37	38	38	38
ア 普通教室	21	20	19	18	19	19	19
イ 特別教室	11	11	11	11	11	11	11
ウ 学校教育施策教室	8	8	8	8	8	8	8

(3) 大型マンション等建築事業の施行に伴う生徒の受入れ

現状においては、必要教室数が全教室数を超えることが予測されないことから、生徒の受入れが困難な状況ではありません。ただし、大型マンション等建築事業の規模によっては、生徒の受入れが困難となることも想定されます。

19 妙典中学校

(1) 生徒数及び学級数

ア 現況 880人 26学級（令和5年5月1日現在）

イ 推計

通学区域内における6歳から11歳までの児童数をみると、6歳297人、7歳334人、8歳351人、9歳349人、10歳313人、11歳304人となっています（令和5年5月1日現在）。

これらの児童が、年齢間変化率（6→7歳96.5%、7→8歳98.7%、8→9歳98.4%、9→10歳98.9%、10→11歳99.1%）及び入学率

（91.4%）を乗じて得た数で推移し、就学後は異同なく学年進行するものとして生徒数及び学級数を推計すると、次の表1のとおりとなります。

【表1】 生徒数・学級数の推計

年 度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
生 徒 数	880	870	844	877	910	918	856
学 級 数 (特学2含む)	28	27	27	27	28	29	27

(2) 教室数

現在、全教室数は53です。また、令和11年度までの学級数の推計に基づき必要教室数を推計すると、次の表2のとおりとなります。

【表2】 学級数の推計に基づく必要教室数の推計

年 度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
全教室数	53	53	53	53	53	53	53
必要教室数 (ア+イ+ウ)	52	51	51	51	52	53	51
ア 普通教室	28	27	27	27	28	29	27
イ 特別教室	14	14	14	14	14	14	14
ウ 学校教育施策教室	10	10	10	10	10	10	10

(3) 大型マンション等建築事業の施行に伴う生徒の受入れ

現状においては、必要教室数が全教室数を超えることが予測されないことから、生徒の受入れが困難な状況ではありません。ただし、大型マンション等建築事業の規模によっては、生徒の受入れが困難となることも想定されます。